

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立旭陽中学校

令和 8 年 4 月

大阪市立旭陽中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学校で認知したいじめについて早期発見早期解決を実現するために丁寧に取り組むと同時に、生徒のいじめに対する意識を向上させる必要がある。

○新たに不登校になる生徒の割合が増えその原因がそれぞれ違うことから、個に対する配慮や対応をより丁寧に行い解消に結び付ける。

○令和 7 年度時点で、中学生チャレンジテストにおける国語・数学の平均点の対府比は、国語 1 年 1.03 2 年 0.97 3 年 0.99 数学 1 年 0.92 2 年 0.99 3 年 0.99 と、課題は残るものの成果は少しずつ出ている。さらに読解力の向上に継続して取組を進める必要がある。

○ICT を活用した授業をより充実させ、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりする活動を増やす必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

○いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を 100%以上にする。

○年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・中学生チャレンジテストにおける、国語の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。

・中学生チャレンジテストにおける、数学の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。

・年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

・年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 80%以上にする。

・時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。

・年度目標アンケートにおける「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を全くしない」と回答する生徒の割合を 42%以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。
- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づきたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を 90%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・中学生チャレンジテストにおける、国語の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- ・中学生チャレンジテストにおける、数学の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- ・年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 70%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
- ・年度目標アンケートにおける「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を全くしない」と回答する生徒の割合を 52%以下にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式例 2)

大阪市立旭陽中 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】 ○年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。 ○いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 90%以上にする。 ○年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【基本的な方向 1-1 いじめへの対応】 「大阪市いじめ対策基本方針」の理解・実践に関する e ラーニング研修の実施し、早期発見・早期解決のために組織として指導に当たる。 指標 年度末に行う行内調査において『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 90%以上にする。	
取組内容② 【基本的な方向 1-3 問題行動への対応】 「学校安心ルール」について生徒・保護者に周知し、生徒理解を深めながら丁寧な指導を徹底する。 指標 年度末に行う行内調査において「学校の約束や決まりを守っていますか。」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。	
取組内容③ 【基本的な方向 2-1 道德教育の推進】 道德科の相互授業参観、指導方法についての研修等を行うとともに、地域との連携を含め、教育活動全体を通して豊かな心を育む道德教育を推進する。 指標 年度末に行う行内調査において「自分には、良いところがありますか。」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立旭陽中 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○中学生チャレンジテストにおける、国語の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。 ○中学生チャレンジテストにおける、数学の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。 ○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向 4-1 言語活動・理数教育の充実】 「学力向上指導実践チーム」事業を活用し、国語科・数学科における教員に対する指導助言と、生徒に対するサポートを実践する。 指標 年度末に行う行内調査において「授業はわかりやすいですか。」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。	
取組内容② 【基本的な方向 4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】 ICT を活用した授業をより充実させ、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりする活動を増加させる。 指標 年度末に行う行内調査において「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。	
取組内容③ 【基本的な方向 5-2 健康教育・食育の推進】 規則正しい生活習慣を習得させる。 指標 年度末に行う行内調査において ①「朝食を毎日食べること」や ②「毎日、同じくらいの時間に寝て、同じくらいの時間に起きること」に対して大切であると肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立旭陽中 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合 70%以上にする。 ○時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。 ○年度目標アンケートにおける「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を全くしない」と回答する生徒の割合を 52%以下にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【基本的な方向 6-1 ICT を活用した教育の推進】 相互授業参観や活用方法に関する研修を行い、有効に活用できる教員を増加させ指導力の向上を図る。 指標 各教員が少なくとも年間 1 回以上の相互授業参観を行う。	
取組内容② 【基本的な方向 7-1 働き方改革の推進】 ・ゆとりの日や学校閉庁日の継続実施、時差勤務制度の活用や勤務時間の割り振り変更等により、教職員が働きやすく、生徒と関わる時間の確保に努める。 ・ICT を活用により、学校運営の効率化を継続する。 ・スクールサポートスタッフや部活動指導員の活用により、教職員の負担軽減を図る。 指標 校内調査において「部活動指導員の配置により負担軽減に繋がりましたか。」に対して、肯定的に回答する教員の割合を 75%以上にする。	
取組内容③ 【基本的な方向 8-3 学校図書館の活性化】 学校司書や図書ボランティアの方々と共同し、生徒が主体的に本に親しむ環境づくりを進める。 指標 年度末に行う行内調査において「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本はありますか。」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 50%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

